

●子ども魚つき大会（10月4日）残念ながら中止となる。

京田辺市で10月4日に開催予定だった「子ども魚つき大会」が、天気予報から判断して中止となりました。主催団体によると、前々日までは季節外れの暑さが続いており、雨の心配はほとんどなかったとのこと。しかし、天気予報では当日の降水確率が70%と発表されたことから、スタッフ間で協議の末、中止を決定しました。大会はこれまで少雨であれば実施してきましたが、今回は安全面を最優先。スタッフの多くが80歳前後と高齢であること、会場までの距離が長いことなどを考慮し、「無理はできない」との判断に至りました。会場準備は数日にわたり行われており、集合場所から会場までの約1.5kmの通路の草刈り（幅4mの確保）、釣り場周辺の整備、立木の伐採など、多くの労力が注がれていました。スタッフの一人は「これまで3回の準備を重ねてきたが、今回は特に力を入れていた。中止は本当に残念」と語っています。

事務局では今後の開催方法についても検討が始まっており、「大規模な整備に頼らずとも実施できる方法を模索する必要がある」「人手不足の中でも延期など柔軟な対応ができる体制づくりが求められる」との声が上がっています。

●国土交通省近畿地方整備局主催による「RACアシストリーダー養成講座」が、八幡市のさくらであい館および木津川本川で開催され、里山の会から6名が参加した。 10月1日(水)

この講座は、川や海での水難事故が頻発する中、河川協力団体を対象に、川での安全活動や指導ができる人材の育成を目的として実施されたものです。河川管理を担う国交省が、事故防止のための啓発と実践的な訓練を組み合わせた内容となっています。里山の会は、山野での自然活動に加え、木津川でのカヌー教室や魚とり体験、Eボートによるお花見乗船など、水辺での活動も積極的に展開しており、今回の講習はまさに時宜を得た取り組みとして参加を決めました。午前中は座学が行われ、水難事故の多くがライフジャケット未着用時に発生していること、ライフジャケットの限界と川の変化への対応の重要性が強調された。また、講習内容を他者に伝えることの意義や、プログラムの計画性の大切さについても講師から言及がありました。午後は木津川本川にて実技訓練が行われ、参加者はウェットスーツを着用し、スローロープを使った救難作業や、6人一組でのパドルによる救助者運搬を体験。水流の強さを先頭・後尾で体感する訓練も実施されました。参加者の多くは高齢者でしたが、講習を通じて「若い世代の参加が今後の課題」との声もありました。「子ども魚つき大会を楽しみにして下さっていた参加者の皆さまには申し訳なかったのですが、当日の天候をご覧になってご理解いただけたと思います。今後も安全を第一に、地域の自然とふれあう機会を守っていききたい」と話していました。

●久御山町栄3.4丁目自治会から「自治会フェスタ」への協力出演の依頼が届きました。

昨年京都いきものフェスタで里山の会の松かさツリーに多くの子どもたちが参加しているのをご覧になっていて、環境に優しい取組だとして出店のお話があり、ご協力をさせて頂きました。そして、今年も出店要請が届きました。早速事務局会議で検討いたしましたところ、現在松かさツリーの在庫がない為、期日までに組み上げて参加することに一致しました。昨年参加いただいた森島さんや金田さん達もきっと賛同を得られると思います。



●同じ久御山町一口(いもあらい)の蓮農家の内田さん宅で、亀岡市ではアユモドキの保存をする田圃を蓮池に取り組んでみてはとの意見から巨椋池の蓮を先代から長年培されている内田さんからお

話を伺う機会が用意されました。10月10日(金)13:00から現地の蓮畑にて開催されます。お尋ねするのは竹門康弘先生と亀岡市の農政課の課長さんとお聞きしています。里山の会からは太田理事、山村常務理事が出席の予定です。貴重なお話を一度お聞きしたいとおいでの方がおられましたら、大至急里山の会までご連絡をお願いいたします。



●会誌の総目録の編集にご協力をお願いいたします

里山の会は定款で機関誌「里山の自然」を発行して各会員に配布をしています。創刊号から現在59号の製作に取り掛かって10月末に発行を予定しています。来年2026年11月に結成30周年記念集会を計画しているのですが、その折に会誌総目録の発行を行おうではないかとなり、その準備を始めています。全冊から目次欄の未抽出は21号から27号までと、リストアップの未抽出が31から58号までの部分が未着手となっています。この部分のお手伝いを頂けるお方を求めています。ワードやエクセルで書き取っていただく作業となります。作業は里山の会事務所をお願いいたします。作業時間をご協力いただける方の都合でお願いいたします。資料原稿は事務所に備えています。中学生の中沢君が21号の目次書き取りに挑戦頂いています。

こんな方におすすめです

- ・地域の自然や歴史に関心がある方
- ・パソコン作業(Word・Excel)に慣れている方
- ・地道な記録作業にやりがいを感じる方
- ・中学生や学生さんのボランティア参加も歓迎!

参加希望・お問い合わせ方法

もしこの活動にご興味がある方がいらっしゃれば、里山の会事務所まで直接ご連絡いただくか、会の担当者にお声がけください。(連絡先や受付方法があれば、追記いただければご案内できます)
一緒に、里山の記録を未来へつなげていきましょう。

●研修会へのご参加を呼びかけています 11月20日から21日

里山の会ではこれまで研修会として兵庫県豊岡市のコウノトリ、そして愛知県の愛知用水、和歌山県の熊野川水害地などを訪ねてきました。今回11月20日21日に岐阜県の各務原市のNPO竹林救援隊をお訪ねしようと計画しています。国宝犬山城や長良川のイタセンパラの取組をそしてできれば



各務原市のNPO 竹林救援隊の活動の様子

淡水魚の水族館をと欲張って、最後に岐阜羽島駅前のESC江崎工場をお訪ねできればと考えています。ご都合がつく方、そして興味をお持ちの皆さんのご参加を期待しています。

●竹蛇籠の放映があります。 10月21日(火)夜9時30分からNHKEテレで!

2015年から木津川玉水浜で竹蛇籠水制、将棋頭水制など川に魚のすみか作りを取り組んできました。過日NHKから連絡があり放映されることになりました。皆さんぜひ見て下さい。